

黒住教 お日の出を拝み、あつくなつた心で人のために祈る ふるさと・イキイキ・だより

発行：黒住教本部 岡山市北区尾上神道山 TEL:086-284-2121 FAX:086-284-4756 <http://www.kurozumikyo.com/>

大惨事に想う 教主 黒住宗晴

この度の大地震、大津波、原発
大事故を通じて見えてきたもの
を三点に絞ってみます。

まずその一つは、人々を助け
ようとして自身が犠牲になつた
方々に、消防団員や警察官が多
かつたことです。さらには、防
災対策庁舎でマイクを握り町民
に避難を呼びかけ続けて、津波
に襲われて果てた二十四歳の娘
さんなど、その使命感あふれる
行動には涙を禁じ得ませんでし
た。このような、我を離れた姿
から先の大戦を思い起こしまし



北海道「網走監獄」博物館敷地内の二見湖畔神社をご参拝

た。終戦当時小学校二年生だつ
た私が受けた教育は、日本が悪
い、戦死した兵隊は犬死にだつ
たということです。しかし、どう
でしょうか。大多数の日本軍人
は、天皇陛下の名のもとに、それ
はすなわち、国、郷里、家族のた
めに、とりわけ国の将来のため
に戦地に赴き散つていかれたの
ではないでしょうか。この度の
大災害に際し、身を捨てて人々
のために尽くして果てた方々
に、大戦中の軍人の方々の心が
重なつて一層胸締めつけられる
思いになりました。

次に思いをいたしました
ことは、外国の人々も驚
嘆した被災した方々の
粛々とした態度です。震
災後、神道山を訪ねてき
たアメリカ人、イギリス
人の青年たちが、何故日
本人は、パニックにもな
らず、暴動も起こさず、あ
のように静かなのかと尋
ねました。「わが国には、
古来大規模な天災人災が

度々襲つてきたが、人々はその
度に現実を受け入れ、そこら
立ち上がつて新しい時代を切り
開いてきた歴史があります。ア
メリカ人のあなたには異論があ
りましようが、日本軍によるハ
ワイの真珠湾攻撃は、決して日
本側の先制攻撃ではないと思つ
ています。今でもそうですがそ
の頃も、日本は石油のほとんど
を輸入に頼つていて、東北アジ
アに進出していた日本をこらし
めるためもあつて、連合国の包
囲網に締めつけられて輸入がス
トップしてしまいました。個人
で言えば、鼻と口を押さえつけ
られて息もできない状況に置か
れたのです。どんな小国でも、あ
そこまで締めつけられたら武器
を持つて立ち上がると言われた
真珠湾攻撃だったのです」。答
えはありませんでしたが、真面
目に聞いてくれました。

三つ目は、天皇陛下のご言動
です。三月十六日のテレビで、
一人でも多くの人の無事を願ひ
被災者に御心を寄せられ、国民

に苦難を共にするようと訴えら
れました。さらに四月十四日か
ら五週続けて、皇后陛下と共に
被災地にお立ちになつて身失せ
られた方々に祈りを捧げ、避難
所で被災者に両膝ついて話を聞
き慰めの御言葉を掛けられまし
た。誰もがその御姿に涙ごぼれ
る思いになりました。このこと
について、かつて学生時代に学
生運動のリーダーだった人に尋
ねられました。本人もすぐく感
動したといいます。「天皇陛下は
即位されると、程なく大嘗祭と
いう御祭りをおつとめになつて、
伊勢神宮に鎮まる天照大御神の
御神霊を神迎えなさいます。こ
の時に鎮まつた「天皇霊」、国民
は大御心と崇めますが、陛下の
日常はすべてと言えらるほど、こ
の大御心をお養いになるために
あります。この大御心のなせる
のがこの度の陛下のご言動なの
です。まさに、「親ごころは神ご
ころ」です。この親ごころを大き
くしたところに天皇陛下の大御
心はあるのです。避難所で仰せ
られたご一言、よくぞ生きてい
て下さいましたこそ、親の言葉
そのものではありませんか」と
話したことでした。

“なでしこリーグ”岡山湯郷ベル 黒田和則ゼネラルマネージャーに聞く

岡山県北東部の美作市にある林野教会所の教徒(ご先祖をお祀りしている宗教が黒住教)の黒田和則氏は、いわゆる“なでしこリーグ(日本女子サッカーリーグ1部)”に所属する岡山湯郷ベルのゼネラルマネージャーを務めていて、チーム結成当時

からの功労者である。

黒田氏はかつて旧美作町の職員として保健体育課またスポーツ振興課さらには助役として、スポーツを通じて“町興し”に努めてきた。「美作市は人口三万三千人で、美人の湯といわれる湯郷温泉を中心としたどかな田舎町です。当地にはラグビー・サッカー場、野球場等で構成する総合運動公園があります。先般見事にロンドン五輪アジア最終予選をトップ通過した女子サッカー日本代表の“なでしこジャパン”は八月二十二日から二十七日にかけて直前合宿をこちらのサッカー場で行いました。市の人口と同じ延べ三万三千人の観光客で賑わいました」と黒田氏。

旧美作町は、女子サッカーチームの湯郷ベルを平成十三年に創設、黒田氏はその立ち上げに並々ならぬ努力を重ねた。

「ご承知のとおり、“なでしこジャパン”はワールドカップ・ド

イツ大会で優勝し、国民栄誉賞にも輝き、今日空前の“なでしこフィーバー”が起きています。正直申しまして、湯郷ベル創設に際しては反対の声があまりましたが、その反対の声があつたればこそ今日があると思つています。まだまだ、道半ばですが…」と話す黒田氏は選手思いでも知られる。

ワールドカップで司令塔として大活躍した宮間あや選手がドイツから帰国した際、JR岡山駅に出迎える人々の中で、一番に抱きついたのが黒田氏だった。「地域と共に歩む湯郷ベル」がチーム方針です。選手たちは住民票を当地に置き、居を構え、それぞれの職場で働きながらサッカーをしています。地域

の皆さんやサポーターの方に支えられて今日があります。ですから、二人の日本代表選手(前出の宮間選手とゴールキーパー福元美穂選手)も地元では「福ちゃん、あやちゃん」と家族のように呼ばれています。

こうした黒田氏の父君の黒田房夫氏は林野教会所の元総代で、教会所創立百年の年の昭和五十三年に今日の教会所を新築した際、建築委員長を務めた。また、母君の房子女史も篤信で知られていた。

「幼い頃、祖父母に連れられて、教会所によくお参りし、先代所長の濱田薫、輝子先生ご夫妻に可愛がっていただいたことは忘れられません」と話す黒田氏のみならず、ご活躍をお祈りする。

大震災被災地の三中学校の サッカー部員、神道山へ

八月二日、神道山・大教殿において、「東日本大震災被災者復興支援スポーツ親善プログラム」の一つ、「RNN絆ミーティング」が開催された。これは本教ともご縁の深い国際医療NGOのAMDAによる復興支援活動の一つ。

大震災直後から現地入りしたAMDAは、岩手県釜石中学校

とのご縁が切っ掛けとなつて、岩手県大槌中学校、宮城県志津川中学校の三つのサッカー部の部員たちを岡山に招待し、岡山県下の中学校サッカー部と親善



神道山の鶯鳴館で被災地の中学生達にお話しされる副教主様

交流試合を開催する運びとなつた。AMDAに協力してきたRNN(人道援助宗教NGOネットワーク)副教主様が事務局長が協賛して、本教も神道山・鶯鳴館を宿泊所として提供、生徒たちを受け入れることとなった。大教殿での御神前奉告式が行われた後、協賛各位の紹介、記念品の授与等が終わると、三校の生徒たちは、AMDAやRNNメンバーと共に、鶯鳴館・別館大広間に集合、副教主様の進行で歓迎夕食会となった。夕食会の冒頭、副教主様の解説のもとに、四月二十九日に神道山・日拝所においてつとめられたRNN合同慰霊祭の映像が流されると、生徒たちは一心に見入っていた。

前列中央の背広姿が黒田氏



生き通し、このころの中に 久保百合子さんのこと

去る八月三日、神楽岡教会

所(京都市)所属のお道づれ久保百合子さんが昇天された。通信講座第二専修科も受講してお道教師の資格も取得。自らが重い病の身にありながらも、悩み病み苦しむ人々のためにも誠を尽くしていた。久保先生の昇天に当たり、親交のあった日笠一代藤井教会所(岡山市)副所長が教会所だより「天心」に記事を掲載。その一文を転載した。

先日、久保百合子さんが、昇天になりました。四十二歳。ご主人とお子さん二人を残しての旅立ちでした。

彼女と初めて会ったのは、昨年十二月、本部冬至大祭の日でした。重い病を抱えているとは思えない、独身と見紛う可憐な美人でした。教主様に紹介されたとき、三年前に亡くなった息子の引き合わせだと感じたことです。「かわいそうに、何とか、力になつてあげられないものだろうか」と、胸に迫るものがありま

した。

その思いで、折々に手紙のやりとりをし、本部の大祭でお会いして、お話をしたりいたしました。久保さんは道を求める心がとても強く、彼女から「病で苦しい。つらい」という言葉を、ほとんど聞いたことがありませんでした。いつも、「どうしたら、ありたい心になれるのか」を常に求めている人でした。ついに教師の資格までとって「白衣を着て布教ができる」と大変喜んでいました。「私のように悩んでいる人、苦しんでいる人のお役に立ちたい」と、ご昇天の二か月前まで話していました。

藤井教会所で、東北震災の被災者や、亡くなられた方の慰霊のための千羽鶴を折る活動を始めたときも、二百羽の鶴を折って送ってくれました。ほとんど寝たがりの状態まで悪化していた病の中でのことでした。葬儀の中でご主人(京大病院の医師)が、「黒住教の御教えに出

合えたおかげで、妻は穏やかに闘病生活が送れました。取り乱すことなく、この日を迎えられたのは黒住教のおかげです」と話されました。

教祖宗忠神の御教えの中に「道にお任せなされ候わば、天命にてご安心のところは自然とでき申すなり。一中略一道に入り給う人は、ご一生の御事ばかりにあらざ、天地あらんかぎりの御事なり。何事も何事も少しもご動じなざるまじく候」(御文二五四号)とあります。形をもつて生きた久保さんも、形を脱いで霊となつて生きる久保さんも、同じ久保さん。ずっとつとつと生き続けて、心の修行を続けていくのだと確信しています。とかく死というものは、悪いこととしてとらえられる今日の世界の中です。特に、若くして、幼くして昇天した人に対しては、その感が強いようです。しかし、死は天命、神のおはからいなのだと思います。形として会えなかつたらさや。さみしさを胸におさめて、霊として一緒に生きていくと信じることで、私たちは一層生き生きと、歩んでいけるのではないのでしょうか。

相談室

悩み事、相談事への答え

【質問】不登校の中学二年生の娘に、親としてどのように接していけばよいのでしょうか。一年生の時にいじめにあつたようです。それ以来学校に行けなくなりました。

【お答え】先日精神科のお医者さんから、子供にとつて、学校の先生に会うことすら、大きな心の負担になるといふ話を聞きました。学校の先生が心配して様子を見に来て、子供が嫌がったら、無理に会わせない方がよいと、そのお医者さんは話していました。こうした話を踏まえて考えてみますと、子供さんは心が疲れた状態ですので、身体の疲れと同じように、まずは休むことが必要です。子供さんを温かく見守り、疲れが取れるまで待つてあげてほしいと思います。お母さんにとつて待つということは、つらい修行だと思ひますが、わが子は必ず立ち直ると信じて、教祖様に全てを任せるとことです。毎日お祓いを唱えて不安な気持ちを祓い清めて、

子供さんのご分心のご開運をひたすら祈つてあげて下さい。

子供さんも、自分で何とかしたいと考えているはずですが、だし、見守ること、ほつたらかしにすることは全く違ひます。何か力になつてほしいと言つてきた場合、例えば勉強の不安を訴えてくれば家庭教師をつけるとか、できる限り力になつてあげて下さい。そして家族皆が明るい挨拶を交わすように努め、子供さんには体を動かす家事を手伝つてもらつて下さい。家族も一緒に汗を流すことが有効です。また、近所や親戚に恥ずかしいこととして隠さず、決して面倒を掛ける困つた子供だという扱ひをしないで下さい。できれば機会を作つて子供さんと一緒に、ご先祖のお墓や教会所にお参りするよう努めて下さい。そうした中に、子供さんは、迷いながらも自分の進む道を考え探していくでしょう。

(大教殿司教 藤原徳行)

しんとう 神道山からのお知らせ(平成二十四年二月～六月)

黒住教本部の主な行事

- 一月一日(日)午前零時 歳旦祭
 - ・午前六時五十五分 日拝式(初日の出)
- 一月八日(日)午前十時 道づれ新春開運祈願祭
 - ・全国よりお道づれが初詣にお参りされます。
- 一月十六日(月)教主様伊勢神宮内宮ご参拜(午前八時三十分内宮宇治橋集合)
 - ・毎年恒例の教主様伊勢神宮初詣です。お道づれの方々もこの日に併せて伊勢参宮を計画されます。
- 三月二十日(火)午前十時三十分 春季祖霊祭
- 三月三十一日(土)午後一時三十分 教祖大祭
 - ・黒住教二大祭の一つです。
- 四月九日(月)神道山コイの山のぼり奉流(五月十六日まで)
 - ・鯉のぼりが、神道山で雄大に泳ぎます。毎年約一五〇匹の鯉のぼりが奉流されます。
- 五月四日(金)第三十四回まるごとキッズ・フェスタ(五日まで)
 - ・小学生を対象とした二泊二日のイベントです。参加ご希望の方は本部までご連絡下さい。
- 五月五日(土)午前十時三十分 第二十二回ごども健康まつり
 - ・約一五〇匹の鯉のぼりの下で、楽しいイベントが行われます。「家族で」参加下さい。
- 五月九日(水)午前十時 婦人会総会
- 五月十九日(土)第十四回まるごとボランティアの日
 - ・社会福祉施設を中心に全国の教会所が一斉にボランティアを行います。所属の教会所を通じて「参加下さい」。

六月二十日(土)午後二時三十分 大祓大祭

・三大祭の一つです。罪けがれを祓う神事です。

大元・宗忠神社の主な行事

- 一月二日(日)午前零時 元旦祭
- 一月十五日(日)午前十時 どんと祭

・新年の松飾り、書き初めや古いお札をお祓いしておはやし(焼納)する神事です。一年間の無病息災を祈つて、おはよしの炉の火でつきたてのお餅を焼いて、おぜんざいと一緒いただきます。

二月三日(金)午後一時三十分 節分祭

・教祖宗忠様が詠まれた「鬼追わず福を求めず我はただ 追われし鬼を福に導く」とのみ教えのままに、婦人会の皆様による手作りの「福豆餅」約五万個が特設ステージより「鬼は内、福は外。福は内、鬼は内」のかけ声で参拝者にまかれま

三月三十一日(土)午後五時 春季大祭

四月一日(日)復活第六十一回宗忠神社「御神幸」 午前八時宗忠神社出発

・大元 宗忠神社「鎮座の翌年から始まり、昭和二十七年より復活してから六十一回という歴史を重ねてきた「御神幸」は、明治の先祖先輩から受け継いでまいりました救世の念願である「天照らす神のみ徳を世の人に 残らず早く知らせたきもの」という御聖願達成への祈りとして今日、岡山の春を彩る「岡山さくらカーニバル」の中心をなす神事として斎行されています。『御神幸』は、教祖宗忠様の御遺徳を顕彰し、御道の隆昌を念じて「奉仕する尊い行事であり、世界の大和と万民の和楽を祈る大神事であります」。

神楽岡・宗忠神社の主な行事

四月二十二日(日)午後一時 春季例大祭

神道山ついたち御日拝のご案内

＊お日の出の郷「神道山」では、毎朝、お日の出の時刻二〇分前より、日拝所で「御日拝」を執り行っています。

＊御日拝：毎朝のお日の出を迎える神事です。どなたでも「参拝いただけます。ぜひ一度お参り下さい」。

＊毎月一日の「ついたち御日拝」には、多くの方がお参りになります。

「ついたち御日拝」の開始時刻は左記の通りです。

- 一月一日：午前六時五十五分
- 二月一日：六時四十五分
- 三月一日：六時十五分
- 四月一日：五時三十五分
- 五月一日：四時五十五分
- 六月一日：四時三十五分

神道山・養心塾道のいろはの案内

○お日の出の郷・神道山―心洗われ 英気が養われる御日拝

○開運への入口・養心塾―黒住教は開運の宗教です。より幸せな人生を！(対象者)黒住教信仰の日が浅い方。お道づれ(信仰者)に限らず広く一般の方々も参加できます。

- 〈開運香のコース(秋のコースもあります)〉
- ①の講 四月十三日(金)・十四日(土)・十五日(日)
- ②の講 五月二十五日(金)・二十六日(土)・二十七日(日)
- ③の講 六月二十二日(金)・二十三日(土)・二十四日(日)

〈詳細・お問い合わせ〉

黒住教本部「養心塾」事務局
〒011-1111 岡山市北区尾上神道山
電話 〇八六一二八四二二五五
FAX 〇八六一二八四四七五六

主要連絡先

大元・宗忠神社

〒700-0972 岡山市北区上中野1丁目3-10
TEL086-241-0148 FAX086-241-7860

神楽岡・宗忠神社

〒606-8314 京都市左京区吉田下大路町63
TEL075-771-2700 FAX075-771-2465

《北海道地区》札幌教会所

〒061-2282 札幌市南区藤野二条10-5-1
TEL011-876-8851 FAX011-876-8852

《関東地区》東京支庁・東京大教会所

〒154-0001 世田谷区池尻2-21-18
TEL03-3795-4142 FAX03-3795-4209
URL…http://www.kurozumikyo-tk.com

《中部地区》名古屋教会所

〒460-0001 名古屋市中区三の丸1-10-33
TEL&FAX052-231-4285

《関西地区》大阪大教会所

〒543-0062 大阪市天王寺区逢阪1-3-14
TEL 06-6771-8191 FAX 06-6771-8199
URL…http://www.kurozumikyo-osaka.com

《四国地区》今治大教会所

〒794-0026 今治市別宮町3-2-1
TEL 0898-22-2295 FAX 0898-22-2299

《九州地区》八幡教会所

〒805-0052 北九州市八幡東区西丸山町9-54
TEL&FAX 093-671-5007



貴方のご縁のある教会所は…

●まるごとダイヤル●

教主様・副教主様の講話・教団の活動情報が聞けます。

086-284-1111

黒住教ホームページ

教祖神・教えと実践・教団の歴史・活動・書籍など

kurozumikyo.com

黒住教機関誌「日新」

1冊150円/年間12冊1800円
お申込は教会所まで。